

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1)調査時点 平成 23 年 7 月 1 日

(2)調査対象期間 平成 23 年 4 月～6 月期の実績および平成 23 年 7 月～9 月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業+食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業+諸業部会より各 30 社、計 150 社を抽出し郵送により調査した。

3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回 答 率
商業+食品業部会	30 社	19 社	63.3%
水産業部会	30 社	14 社	46.7%
機械工業部会	30 社	18 社	60.0%
建設業部会	30 社	16 社	53.3%
観光・サービス業+諸業部会	30 社	23 社	76.7%
合 計	150 社	90 件	60.0%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

Ⅱ. 概 況

－業況は横ばい次期好転見込み－

1. 全体の動き(業況)

四半期毎に実施している中小企業景況調査の**今期(平成23年4月～6月)の全業種平均DI値**(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、**前年同期比では△40.0**と前回調査時の△34.9より**5.1ポイントのマイナス**となりました。業況指数は前年同期比指数で改善されない傾向であり、依然として市内経済を取り巻く経営環境は厳しい状況にあることが再確認されます。

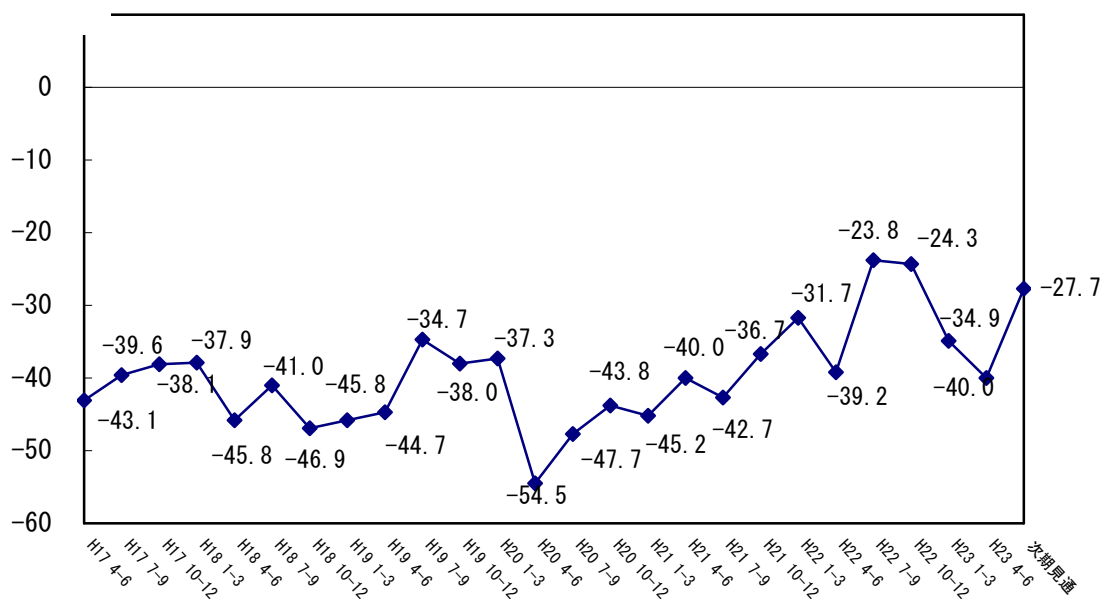
部会別で前年同期比ベースをみると、商業・食品業[前期△42.8→今期△26.3]、水産業[前期△38.9→今期△42.9]、機械工業[前期△15.8→今期△44.4]、建設業[前期△47.4→今期△37.5]、観光・サービス・諸業[前期△50.0→今期△47.8]となりました。年度明けの第1四半期目に機械工業が悪化、全体の指数もほぼ40%近辺であり、二転三転する国会情勢の不安定さで経済の先行きも不透明、業況はますます厳しくなっております。一方、お盆商戦期待の商業食品業のみ20%台と昨年同期よりは若干業況改善が見受けられます。

全体の業況はグラフを見ると回復傾向の兆しも平成23年に入ってから業況指数の悪化傾向が続き、今後の指数の状況については見通し予測のつかないところである。

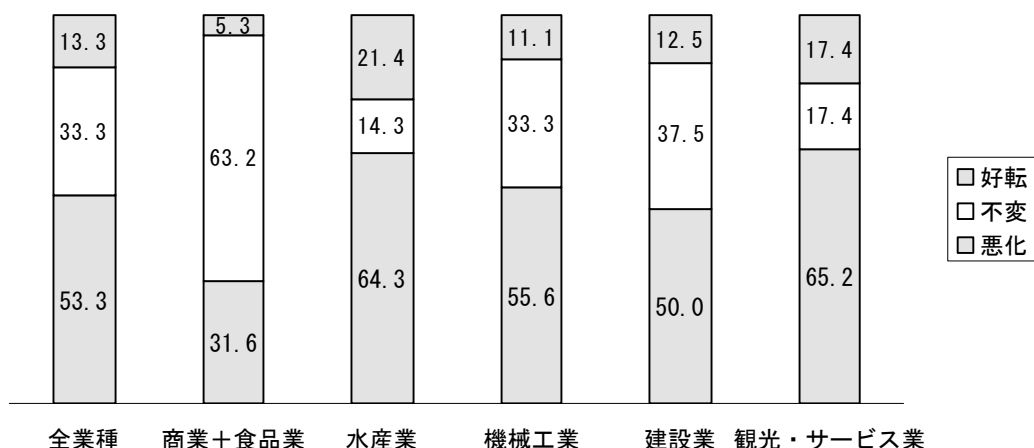
来期(平成23年7月～9月)については、全体では今期と比べて**業況判断DIが12.3ポイント改善**するとの予測となっているが、全体的な業況の悪化状況は変わらないとの見方がでています。どの業種も先行きに明るい材料が見受けられない状況です。

紋別商工会議所 景気動向調査(業況の推移)
(好転－悪化)

前年同期比



今期の業況（前年同期比）



経営上の問題点としては、全体的に需要の停滞と原材料等の価格上昇を訴える声が多く寄せられています。また中心商店街の空き地・疲弊化はさらにひどくなっており、中心街においても大規模小売店だった「あつみ」の解体作業が終了し市所有の広い空き地ができてしまいました。（今後はイベント事業の活用などに期待しております。）お盆商戦を含む次期見通しはほぼ横ばい予想となっており、厳しい状態を強いられています。

設備投資については、前期同様、依然慎重な動きが続いています。

■部会別の動向

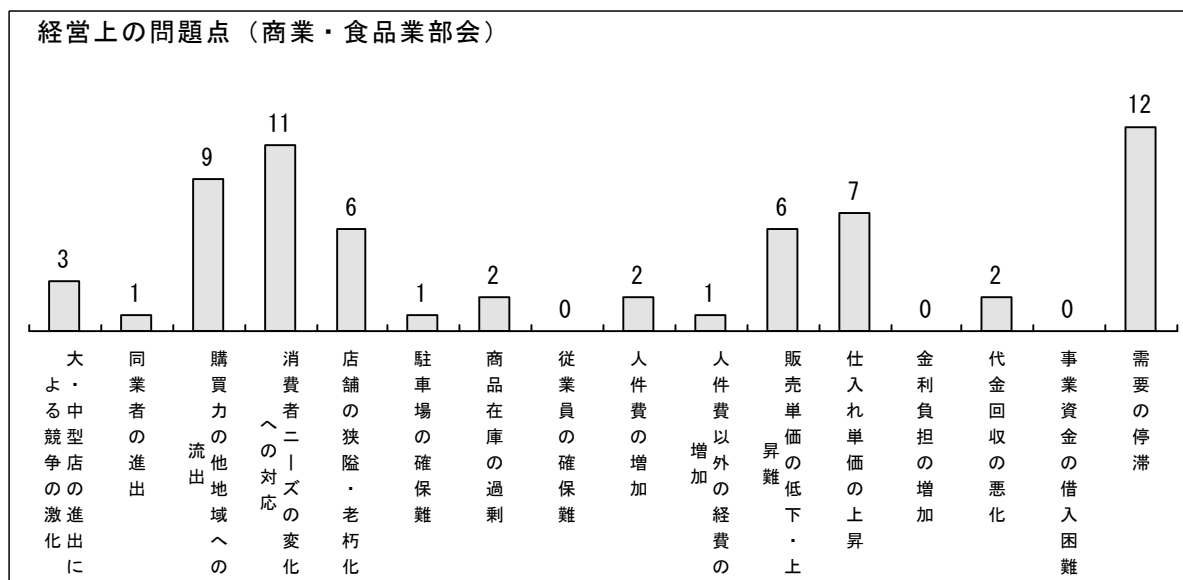
【商業・食品業部会】〔業況判断DI値（前年同期比） $\Delta 26.3$ （前年DI値 $\Delta 42.9$ 、来期見直し $\Delta 26.3$ ）〕

業況DI値（前年同期比）は、依然厳しい状況で推移しています。春物を中心として売上の回復が期待され、全体として前回予想よりは回復傾向の結果となっております。次期の見通しはほぼ横ばいの動きと予想されています。

経営上の問題点としては「需要の停滞」「消費者ニーズの変化への対応」「購買力の他地域への流出」を訴える声が多くなっています。

《業界の問題点等》

- ・入札価格の低下、仕事量の低下で価格が低値しています。（小売）
- ・震災の影響で当店唯一売上の高いたばこの入荷が少なく、お客様にもう少しまって下さいと謝りながらの商売。近頃「たばこ、たばこ」というお客様の数が少なくなったと思いきや、コンビニはたばこの入荷が週に3回と聞き、愕然としております。因みに、当店は週1回。（小売）



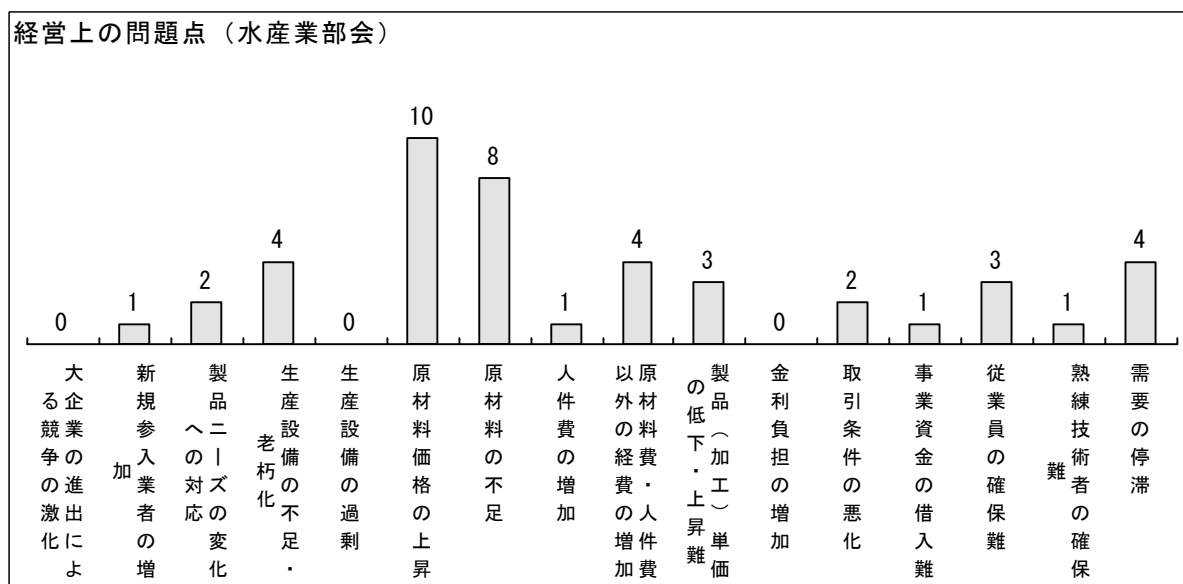
【水産業部会】〔業況判断DI値（前年同期比） $\Delta 42.9$ （前年DI値 $\Delta 38.9$ 、来期見通し $\Delta 14.3$ ）〕

業況判断DI値（前年同期比）は前年DI値同様低い数値となっております。最盛期をむかえる来期見通しについては $\Delta 14.3$ ポイントと改善の期待を見込んだ数字となっております。カニの輸入が思わしくないとの報道があり現漁獲補という面では非常に厳しい状況です。6月頃から本格操業に入ったホタテも今のところ貝毒も出でおらず順調な滑り出しであるといえます。

経営上の問題点としては「原材料価格の上昇」「原材料の不足」を訴える声が多くなっています。

《業界の問題点等》

- ・原発による海洋汚染、風評被害が心配される。（水産加工業）



【機械・工業部会】〔業況判断DI値（前年同期比） $\Delta 44.4$ （前年DI値 $\Delta 15.8$ 、来期見通し $\Delta 11.1$ ）〕

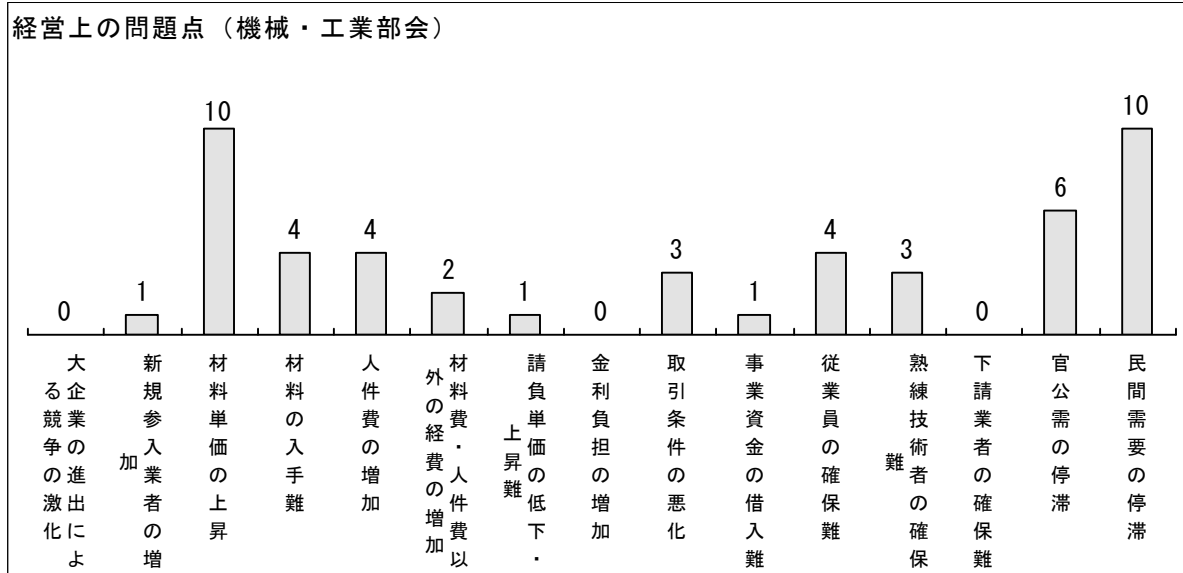
業況判断DI値（前年同期比）は、前年DI値よりも28.6ポイントの悪化となった。その要因としては昨年はエコカー減税等の効果があったが、現在は売上も低調気味で推移していること等に起因していると思われる。しかしながら次期見通しの業況判断は繁忙期を迎える夏場であり、自動車業界も新車販売等回復傾向と報道されており業況改善の見通しとなっています。また、お客様からの安い中古車調達注文があるが、前年までのエコカー補助金の制度で新車購入前の車を廃車にすることが補助金をもらえる条件だったため、せっかく中古でも十分に走れる

車がすべて廃車となり、なおかつ大震災の影響で東北地方での中古車購入が加速され仕入れしなくても手に入らない状況であると聞いています。

経営上の問題点としては「民間需要の停滞」「材料単価の上昇」「官公需の停滞」を訴える声が多い。

《業界の問題点等》

- ・官公需の停滞、民間需要の停滞（印刷業）
- ・中古車がない（自動車）



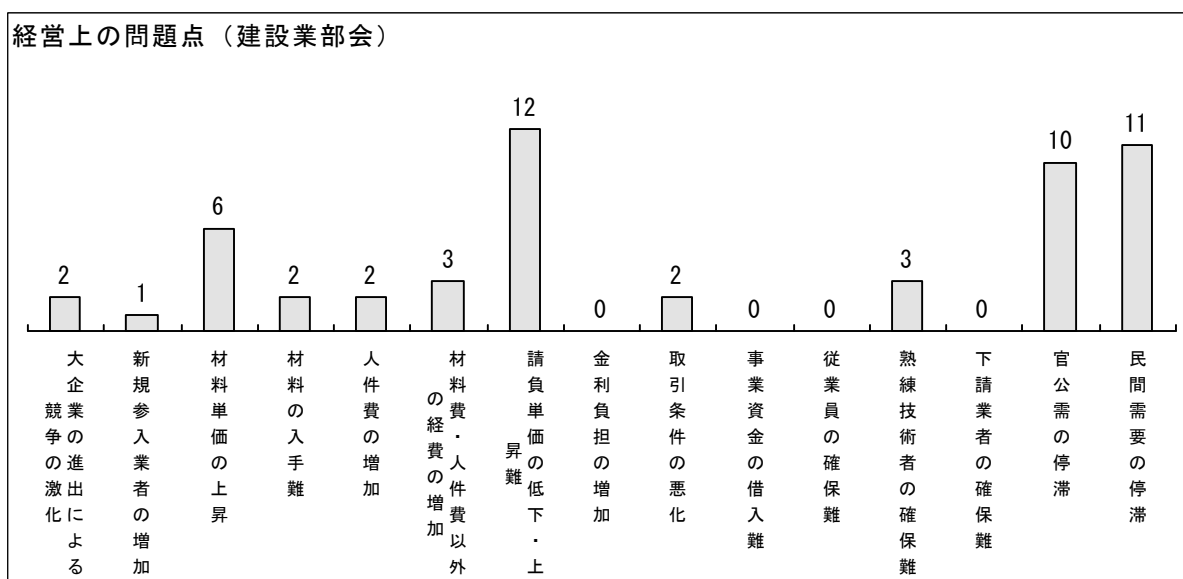
【建設業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）△37.5（前年DI値△47.4、来期見通し△50.0）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、前年DI値よりも若干改善している状況です。これから本格的な繁忙期に入る予定ですが、政局の不安定さから先行きは不透明のまま、公共工事の減少等、大きな回復は見込めず夏場で忙しいはずなのに仕事が少ないという厳しい状況がうかがえます。

経営上の問題点としては「請負単価の低下・上昇難」「民間需要の停滞」「官公需の停滞」を訴える声が多い。

《業界の問題点等》

- ・公共工事の激減（建設）



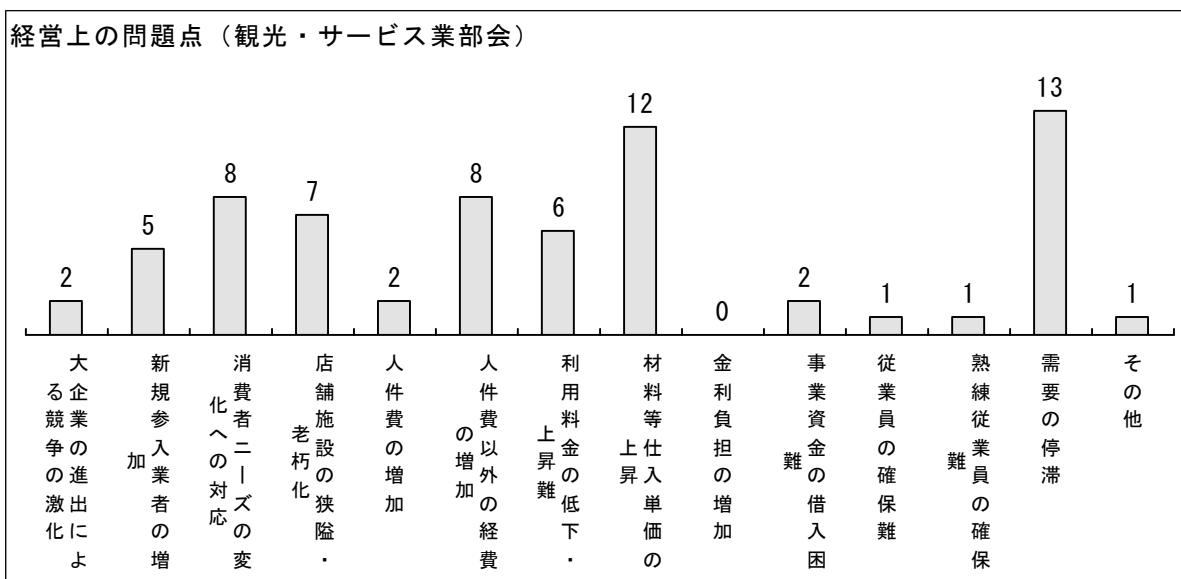
【観光・サービス・諸業部会】〔業況判断DI値（前年同期比） $\Delta 47.8$ （前年DI値 $\Delta 50.0$ 、来期見通し $\Delta 34.8$ ）〕

業況判断DI値（前年同期比）は前年DI値ほぼ横ばいの悪化状態が継続。観光シーズンになったにもかかわらず先行き見通しはよくない状態が続いています。震災の影響による観光客の減少や外食控えなどがあり思わしくないときいております。

経営上の問題点としては、「需要の停滞」「材料等仕入れ単価の上昇」を訴える声が多い。

《業界の問題点等》

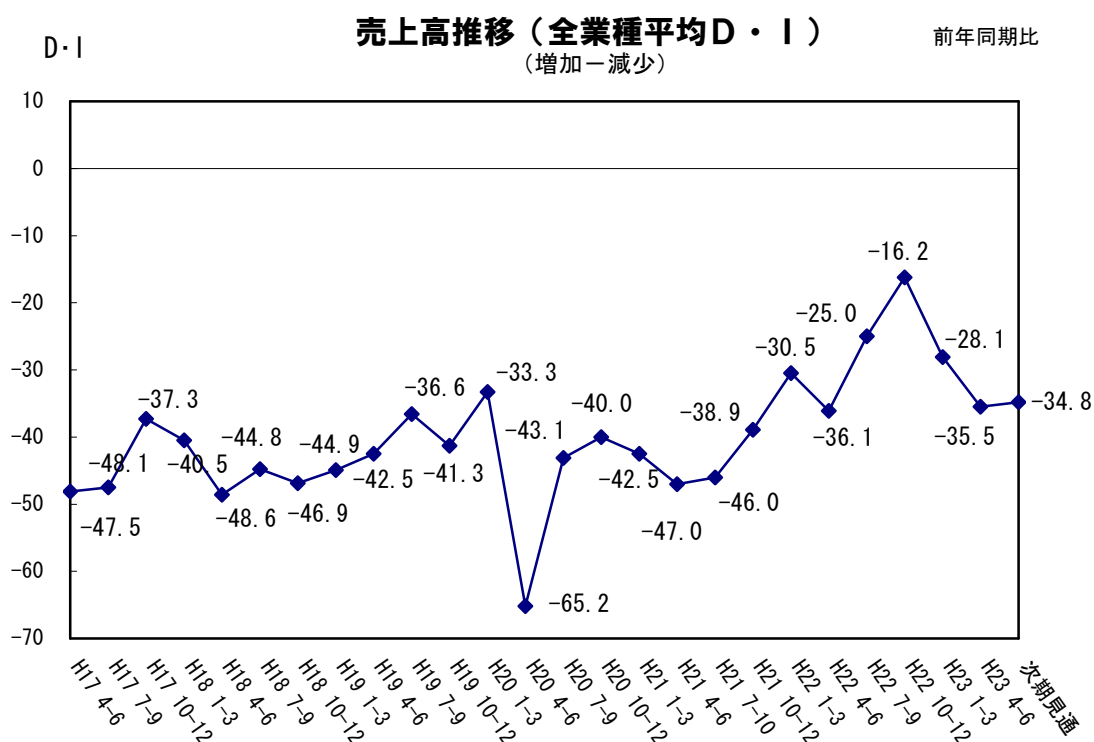
- ・ 海あり、港あり、その海からの食べ物を港で食する事のできる様な施設があれば遠来からの集客可能と思われます。まず、業界が一つになり、それぞれの行政機関に働きかけて行く事が出来れば未来があるかも。（飲食業）
- ・ 大震災後の食材の流通や不足が今後の不安材料です。（特に海産物類）（飲食業）
- ・ 人の問題が多い（飲食業）
- ・ 最悪の状態です。（理美容業）



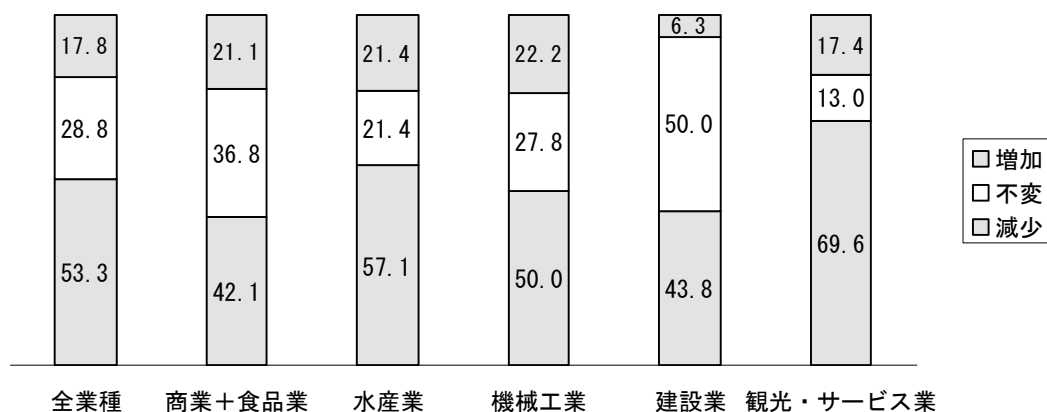
2. 今期の動向

(1) 今期の売上高・生産高

【前年同期比】（平成 22 年 4 月～6 月期の水準と比較した今期の売上高）



今期の売上高・生産高（前年同期比）



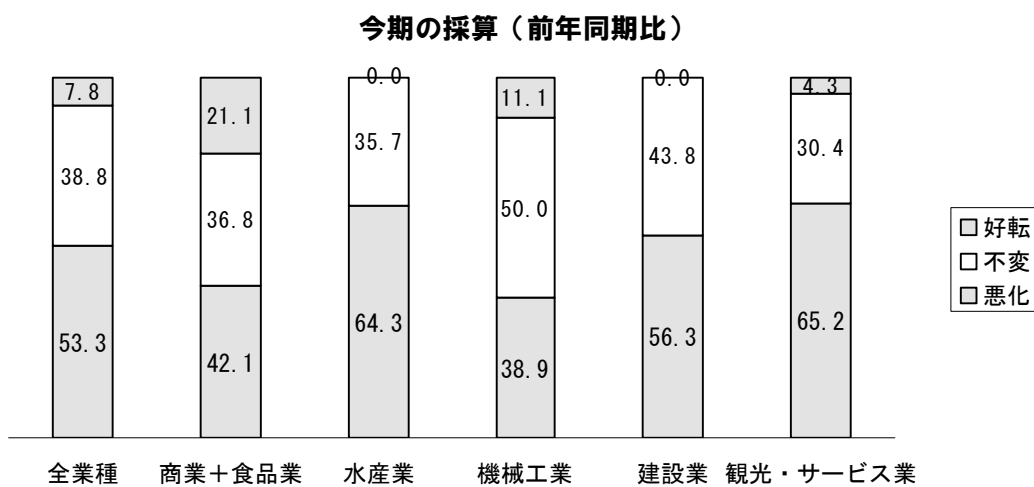
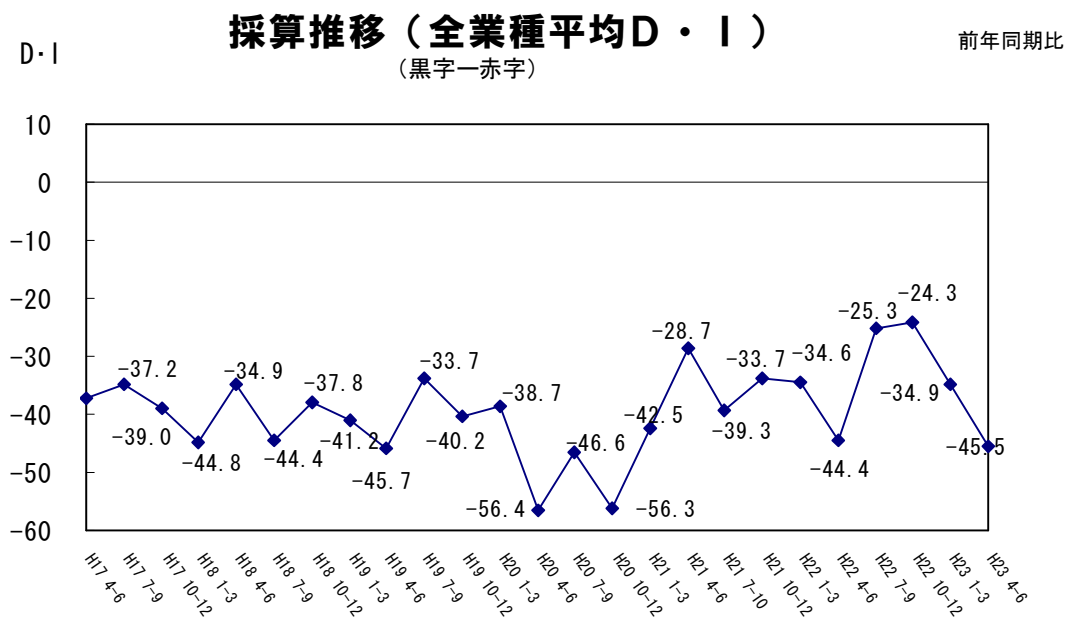
全業種平均で DI 値△35.5〔前年 DI 値（平成 22 年 4～6 月期△36.1）より 0.6 ポイントプラス〕

[部会別 DI 値]

商業・食品業〔前年△19.0→△26.3〕、水産業〔前年△33.3→△42.9〕
 機械工業〔前年△10.5→△44.4〕、建設業〔前年△57.9→△37.5〕
 観光・サービス業〔前年△60.0→△47.8〕

(2) 今期の採算

【前年同期比】（平成 22 年 4 月～6 月期の水準と比較した今期の採算水準）

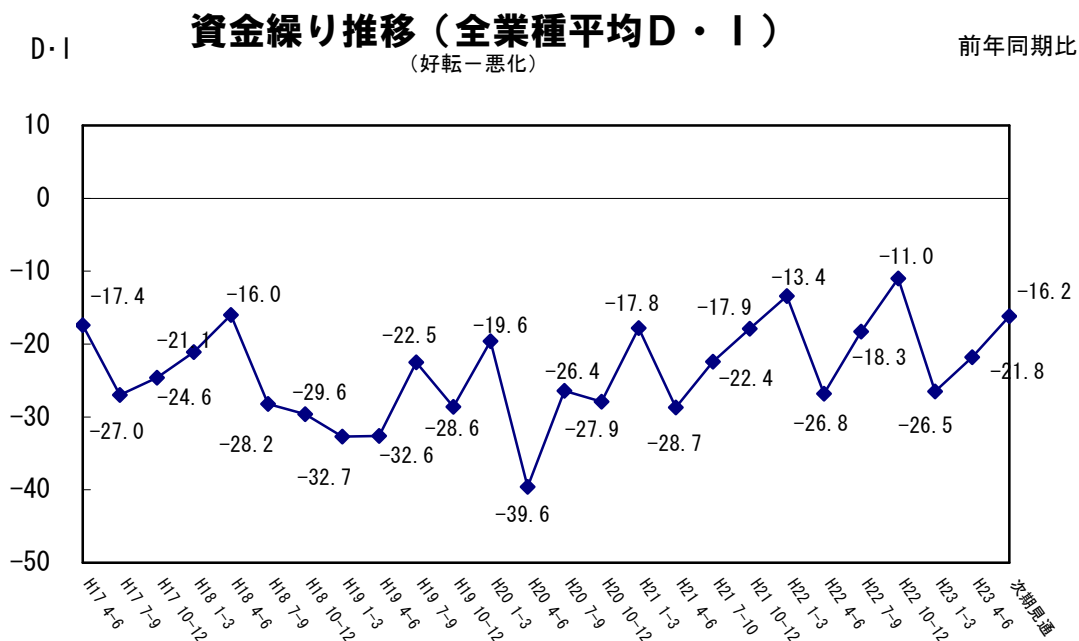


全業種平均でDI 値△45.5〔前年DI 値（平成 22 年 4～6 月期△44.4）より 1.1 ポイントマイナス〕

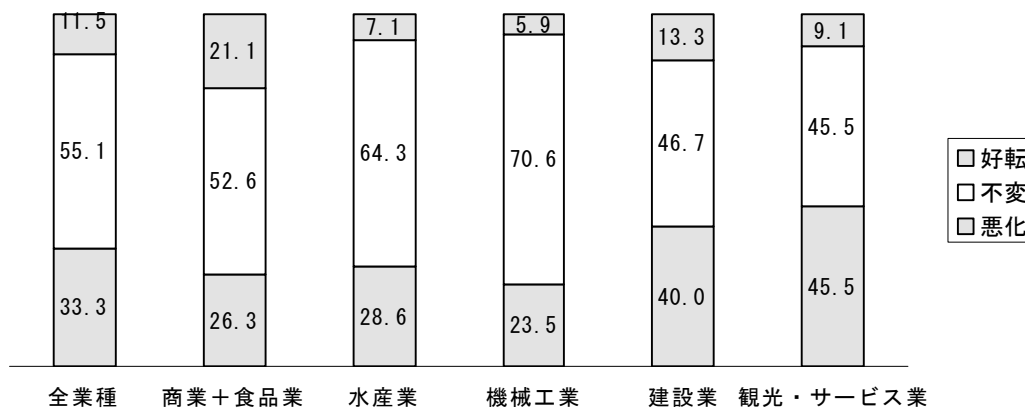
〔部会別 DI 値〕 商業・食品業〔前年△38.1→△21.1〕、水産業〔前年△44.4→△64.3〕
 機械工業〔前年△21.1→△27.8〕、建設業〔前年△57.9→△56.3〕
 観光・サービス業〔前年△60.0→△60.9〕

(3) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成 22 年 4 月～6 月期の水準と比較した今期の資金繰り）



今期の資金繰り（前年同期比）



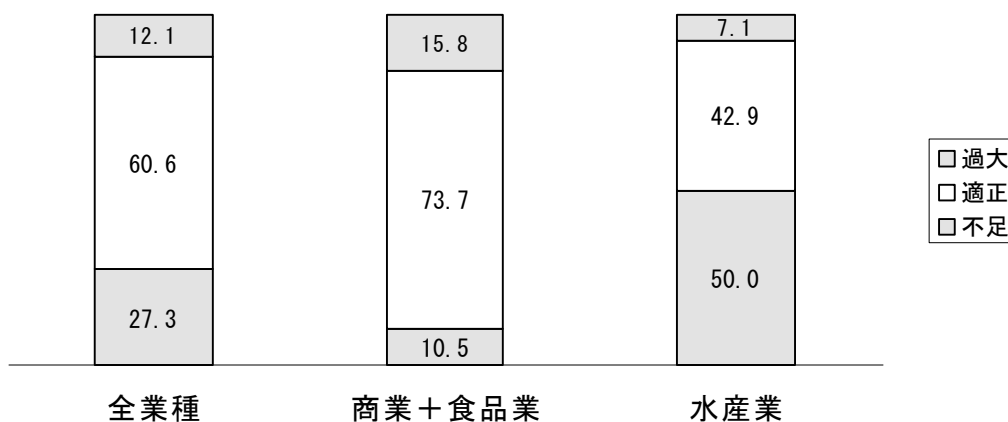
全業種平均でDI 値△21.8〔前年DI 値（平成 22 年 4～6 月期△26.8）より 5.0 ポイントプラス〕

〔部会別 DI 値〕 商業・食品業〔前回△28.6→△ 5.3〕、水産業〔前回△22.2→△21.4〕
 機械工業〔前回△ 5.6→△17.6〕、建設業〔前回△27.8→△26.7〕
 観光・サービス業〔前回△50.0→△36.4〕

(4) 今期の在庫水準

【前年同期比】（平成 22 年 4 月～6 月期の水準と比較した今期の在庫水準）

今期の在庫水準（前年同期比）



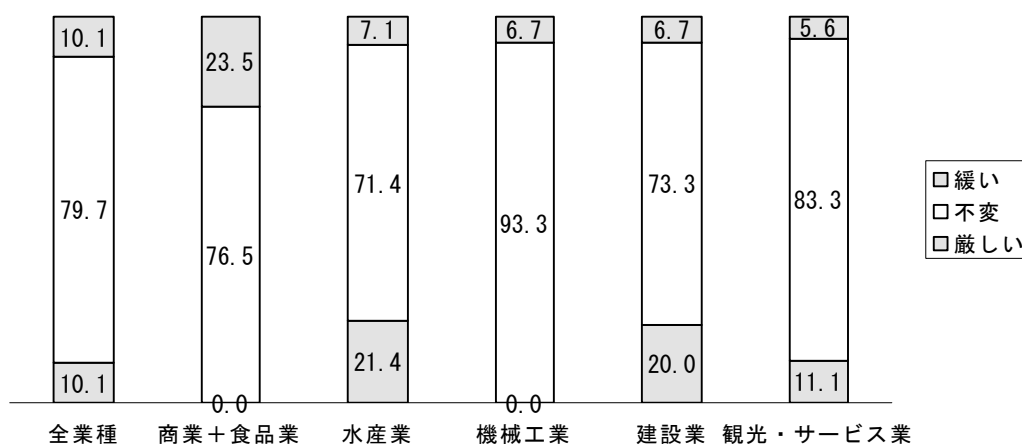
全業種平均で DI 値△15.2〔前年 DI 値（平成 22 年 4～6 月期△15.3）より 0.1 ポイント在庫増加〕

〔部会別 DI 値〕 商業・食品業〔前回+4.8→+5.3〕、水産業〔前回△38.9→△42.9〕

(5) 今期の金融機関の貸出姿勢

【前年同期比】（平成 22 年 4 月～6 月期の水準と比較した今期の金融機関の貸出対応）

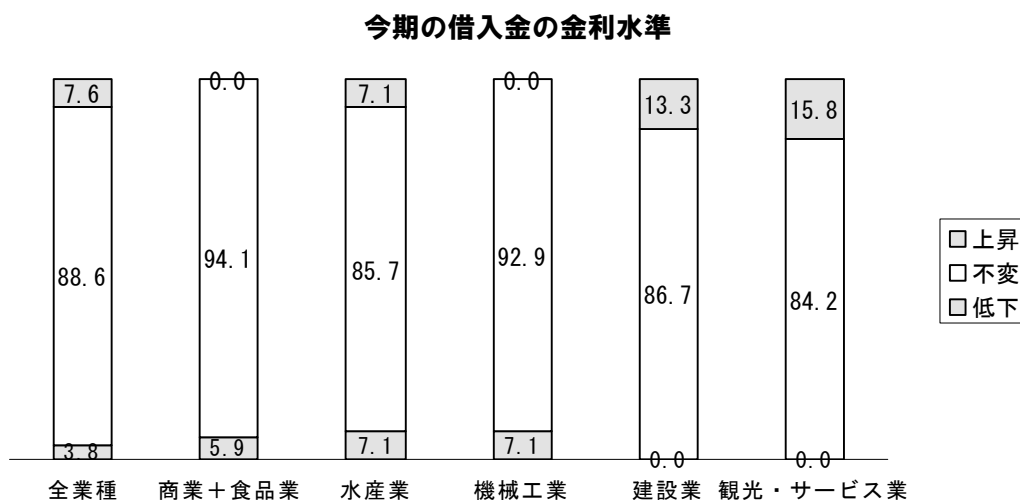
今期の金融機関の貸出姿勢



全業種平均で 0.0 ポイント。商業食品業 23.5 水産業△14.3 機械工業 6.7 建設業△13.3 観光サービス業△5.6。

(6) 今期の借入金の金利水準

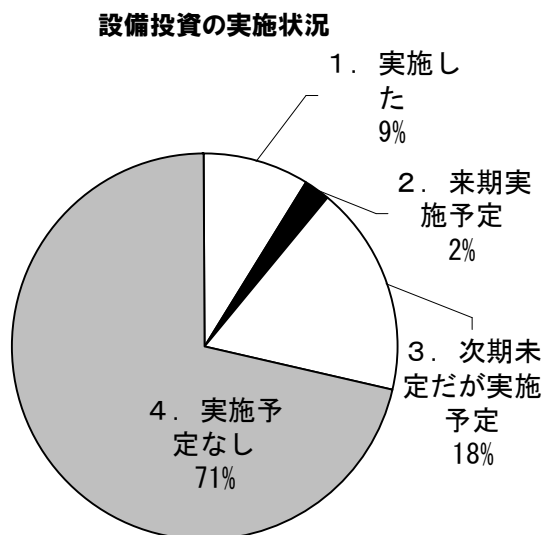
【前年同期比】（平成 22 年 4 月～6 月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準）



全業種平均で 3.8 ポイント。商業食品業△5.9 水産業 0.0 機械工業△7.1 建設業 13.3 観光サービス業 15.8。

(7) 設備投資の実施状況

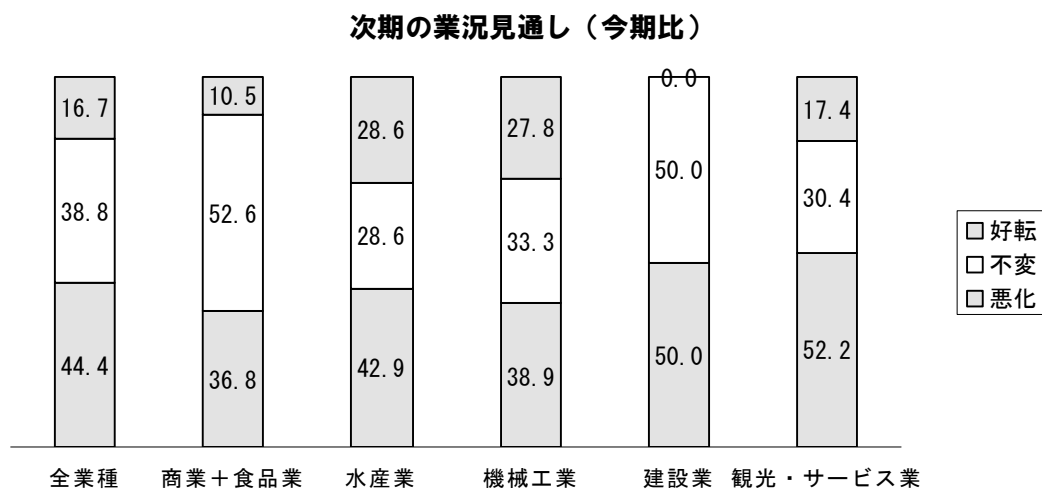
今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について



3. 来期の見通し

(1) 来期の業況

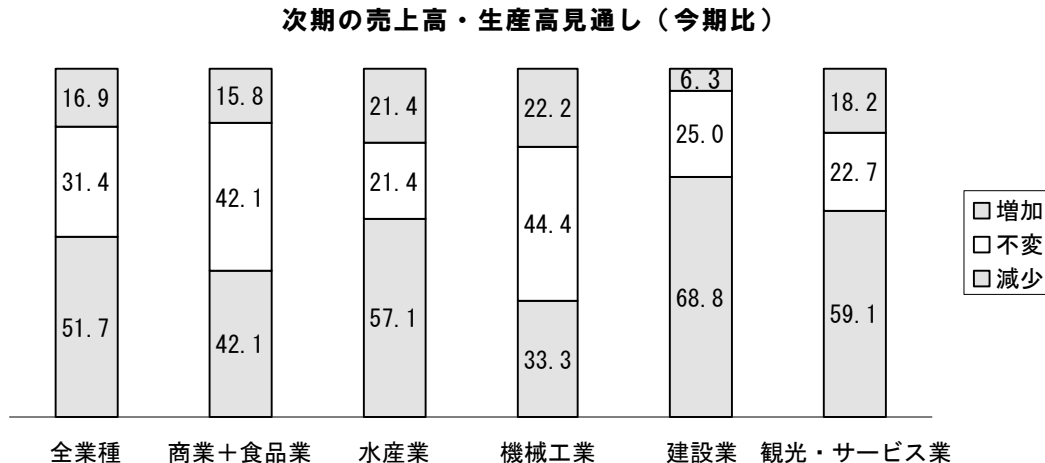
【今期比】（平成 23 年 4 月～6 月期の水準と比較した来期の業況見通し）



全業種平均 DI 値 $\Delta 27.7$ [今期の業況（前年同期比 $\Delta 40.0$ ）より 12.3 ポイント回復の見通し]

(2) 来期の売上高・生産高

【今期比】（平成 23 年 4 月～6 月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）

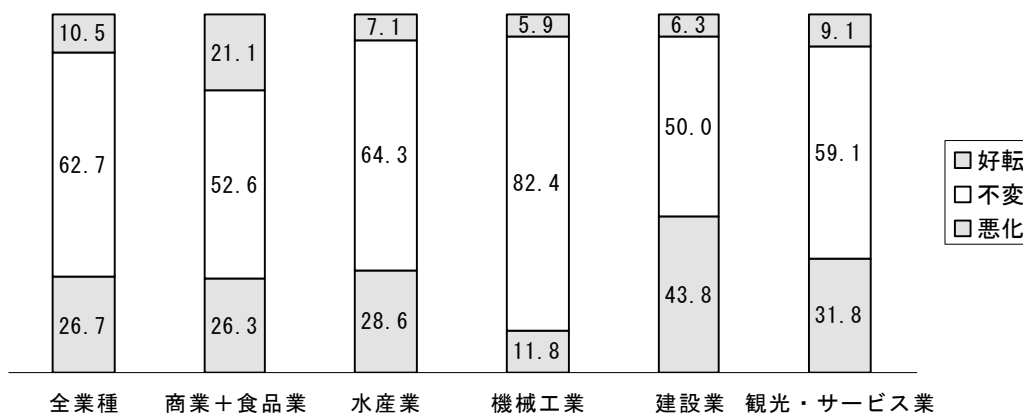


全業種平均 DI 値 $\Delta 34.8$ [今期の売上高・生産高（前年同期比 $\Delta 35.5$ ）より 0.7 ポイント改善の見通し]

(3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】（平成 23 年 4 月～6 月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し）

次期の資金繰り見通し（今期比）



全業種平均 DI 値 $\Delta 16.2$ [今期の資金繰り（前年同期比 $\Delta 21.8$ ）より 4.6 ポイント改善の見通し]

Ⅲ. 各 指 標

		全 体	商 業 食 品 業	水 産 業	機 械 工 業	建 設 業	観 光 サ ー ビ ス ・ 諸 業
業況判断 D・I	今期実績	$\Delta 40.0$	$\Delta 26.3$	$\Delta 42.9$	$\Delta 44.4$	$\Delta 37.5$	$\Delta 47.8$
	来期見通し	$\Delta 27.7$	$\Delta 26.3$	$\Delta 14.3$	$\Delta 11.1$	$\Delta 50.0$	$\Delta 34.8$
売上 D・I	今期実績	$\Delta 35.5$	$\Delta 21.1$	$\Delta 35.7$	$\Delta 27.8$	$\Delta 37.5$	$\Delta 52.2$
	来期見通し	$\Delta 34.8$	$\Delta 26.3$	$\Delta 35.7$	$\Delta 11.1$	$\Delta 62.5$	$\Delta 40.9$
在庫 D・I	今期実績	$\Delta 15.2$	5.3	$\Delta 42.9$	—	—	—
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
採算 D・I	今期実績	$\Delta 45.5$	$\Delta 21.1$	$\Delta 64.3$	$\Delta 27.8$	$\Delta 56.3$	$\Delta 60.9$
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
資金繰り D・I	今期実績	$\Delta 21.8$	$\Delta 5.3$	$\Delta 21.4$	$\Delta 17.6$	$\Delta 26.7$	$\Delta 36.4$
	来期見通し	$\Delta 16.2$	$\Delta 5.3$	$\Delta 21.4$	$\Delta 5.9$	$\Delta 37.5$	$\Delta 22.7$
金融機関 貸出姿勢 D・I	今期実績	0.0	23.5	$\Delta 14.3$	6.7	$\Delta 13.3$	$\Delta 5.6$
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
借入金 金利水準 D・I	今期実績	3.8	$\Delta 5.9$	0.0	$\Delta 7.1$	13.3	15.8
	来期見通し	—	—	—	—	—	—

※借入金金利水準 D・I 値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。